

吉田さん(巨勢小5年)胸張り発表



全国選抜小学生大会「みんなの未来賞」



制作したゲームを発表する吉田一貴さん＝東京の品川インターシティホール

環境問題などゲームで学習

東京都 プログラミング技術を駆使したアプリやゲームなどの完成度を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」が8日、東京都で開かれた。佐賀県代表の吉田一貴さん(巨勢小5年)は地球環境や交通ルールに関するクイズを解くゲームを初出場ながら臆することなく発表し、「みんなの未来賞」に輝いた。

共同通信社と佐賀新聞 抜いた46組55人の代表が社などの加盟社でつくる 全国大会に出場し、3分全国新聞社事業協議会が 間で作品の特徴や狙い、主催し、6回目。「みんなの未来賞」をテーマに 工夫などをプレゼンテーションの幕り、全国から1402組の応募があった。吉田さんは好きな「脱出ゲーム」に学びの要素を盛り込んだ作品を披露した。都道府県大会を勝ち

した。ごみの分別や交通ルール、環境問題に関するクイズとアトラクションをクリアすると部屋の外に出られる仕組みを紹介。ごみのポイ捨てや交通違反をしていたキャラクターが、行動を反省するストーリーも評価された。

プログラミング言語「スクラッチ」で約3週間かけて制作し、キャラクターがなめらかに動くように工夫を重ねた。吉田さんは「もっと上の賞に入りたかった」と話し、「キャラを増やしたり別の要素を追加したりして、面白いゲームにアップデートしたい」と再挑戦を誓った。グランプリの文部科学大臣賞は、岡山県代表の山下桃子さんが受賞した。(小島発樹)